



2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年1月9日

東

上場会社名 伊澤タオル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 365A URL <https://www.izawa-towel.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊澤正司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼管理本部長 (氏名) 三好拓人 (TEL) 06(6690)1338
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第3四半期の業績 (2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益				
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%			
2026年2月期第3四半期	7,729	—	432	—	974	—	565	—			
2025年2月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—			
1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益									
		円 銭					円 銭				
2026年2月期第3四半期	56.56		55.45								
2025年2月期第3四半期	—		—								

(参考) のれん償却前四半期純利益 2026年2月期第3四半期 716百万円 2025年2月期第3四半期 一百万円

(注) 1. 当社は2025年2月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2025年2月期第3四半期の数値及び2026年2月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2026年2月期第3四半期	8,921		4,057		45.5	
2025年2月期	8,380		3,882		46.3	

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期 4,057百万円 2025年2月期 3,882百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年2月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 39.00	円 銭 39.00
2026年2月期	—	0.00	—	—	—
2026年2月期(予想)				35.04	35.04

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の業績予想 (2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	10,884	10.8	900	41.1	849	△13.3	499	△13.7	49.92	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料5ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年2月期3Q	10,000,000株	2025年2月期	10,000,000株
2026年2月期3Q	一株	2025年2月期	一株
2026年2月期3Q	10,000,000株	2025年2月期3Q	一株

(注) 2025年2月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2025年第3四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料につきましては当社ウェブサイトに掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(セグメント情報等の注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには引き続き注意が必要である状況が続いております。

国内のタオル及びタオル製品の小売市場規模は、業界推計によると1,600億円から1,900億円（注1）であり、今後も市場規模は同水準で微増トレンドにあると予想しております。また、大手小売業者の開発するP B商品が拡大傾向にあり、タオル及びタオル製品においても、P B商品の開発は価格面だけではなく、競合他社との差別化など、価格以外の独自性を実現する有効な手段であると考えております。E C市場についても、新型コロナウイルス禍を経て、普段使いの商品のまとめ買い需要や実店舗購入よりも高い利便性から拡大しております。

このような状況のもと、当社は営業活動からの商品ニーズ発掘や店舗調査等のマーケット情報収集、产学連携による共同研究、糸の織り方や薬剤の選定・工夫をした新製法の開発、E Cサイト内での新製品販売への取組み等、研究開発や売上拡大に努めてまいりました。さらに、中国経済の懸念や地政学リスクに対応するため、生産拠点の分散を図っております。具体的には、中国中心の生産から、インドやベトナムでの生産体制の構築を進めております。

また、日米における金利差の動向を背景として、期間前半は円高が進行しましたが、後半にかけて円安に転じ、期末（四半期末）為替レートは前期末の149.63円／ドルから当第3四半期末では156.63円／ドルとなりました。その結果、為替予約時価評価損益を含む為替差益601,278千円を営業外収益へ計上しております。

2025年10月30日付「第三者委員会による調査結果、処分および再発防止策に関するお知らせ」で公表しました通り、当第3四半期決算において特別調査費用等6,929千円を特別損失に計上しております。当社は、再発防止策を最優先事項として速やかに実行し、二度とこのような事態を発生させないよう、全社一丸となって、透明性の高い企業文化、実効性のあるガバナンス体制の構築及び従業員の心理的安全性の高い組織運営を行ってまいります。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は7,729,519千円、営業利益は432,600千円、経常利益は974,945千円、四半期純利益は565,637千円となりました。

（注）1. 株式会社クロス・マーケティング「タオル業界市場調査レポート」

(2) 財政状態に関する説明

（資産の部）

当第3四半期会計期間末における資産合計は8,921,255千円となり、前事業年度末と比べて541,178千円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金が1,014,387千円、為替予約が197,082千円増加した一方で、現金及び預金が773,897千円減少したことによるものであります。

（負債の部）

当第3四半期会計期間末における負債合計は4,863,500千円となり、前事業年度末と比べて365,695千円増加しました。これは主に買掛金が166,520千円、その他流動負債が296,621千円増加したことによるものであります。

（純資産の部）

当第3四半期会計期間末における純資産合計は4,057,755千円となり、前事業年度末と比べて175,483千円増加しました。これは主に四半期純利益565,637千円の計上、利益剰余金の配当390,036千円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の経常利益および四半期純利益は、円安による為替差益の発生に伴い、通期業績予想を上回る推移となりました。しかしながら、事業年度末時点の為替レートを予測することは困難であるため、2025年6月20日に公表した「東京証券取引所スタンダード市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」における通期業績予想の修正は行わず、数値を据え置いております。

なお、将来予測情報につきましては、現時点において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,676,593	902,696
受取手形及び売掛金	1,509,191	2,523,579
電子記録債権	225,338	149,073
商品及び製品	419,102	395,332
為替予約	332,355	529,438
その他	32,197	131,663
流動資産合計	4,194,779	4,631,781
固定資産		
有形固定資産	719,593	725,166
無形固定資産		
のれん	3,325,405	3,174,250
その他	1,755	1,201
無形固定資産合計	3,327,160	3,175,452
投資その他の資産	138,543	388,855
固定資産合計	4,185,297	4,289,473
資産合計	8,380,076	8,921,255
負債の部		
流動負債		
買掛金	565,263	731,784
1年内返済予定の長期借入金	230,000	230,000
未払法人税等	368,960	402,307
賞与引当金	15,793	—
その他	252,787	549,408
流動負債合計	1,432,805	1,913,500
固定負債		
長期借入金	3,065,000	2,950,000
固定負債合計	3,065,000	2,950,000
負債合計	4,497,805	4,863,500
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	2,708,556	2,708,556
利益剰余金	1,143,577	1,319,178
株主資本合計	3,882,133	4,057,734
新株予約権	138	21
純資産合計	3,882,271	4,057,755
負債純資産合計	8,380,076	8,921,255

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

当第3四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)	
売上高	7,729,519
売上原価	6,048,699
売上総利益	1,680,819
販売費及び一般管理費	1,248,219
営業利益	432,600
営業外収益	
為替差益	601,278
その他	8,941
営業外収益合計	610,219
営業外費用	
支払利息	32,831
上場関連費用	33,040
その他	2,002
営業外費用合計	67,874
経常利益	974,945
特別損失	
特別調査費用等	6,929
特別損失合計	6,929
税引前四半期純利益	968,015
法人税等	402,378
四半期純利益	565,637

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、タオル製品等の企画、製造及び販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

当第3四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)	
減価償却費	9,657千円
のれんの償却額	151,154千円